

2025 年 1 月 21 日

下畑台小学校郷土資料室に学ぶ会
(郷土資料室地域ボランティア)

『郷土資料室』へ ようこそ！

郷土資料室では、約400の資料を展示・保管しています。

今回は、戦争資料のいくつかをご紹介します。

戦争資料の所蔵点数はあまり多くはありませんが、校区内にお住まいだった方々からの寄贈です。

忘れてはならない記憶のかけらです。

<< 軍人が身に着けていたもの >>



りくぐんぼう 【陸軍帽（下士官用）】

帽子についている^{ごほうせい}五芒星印は、
五つの角をもつ星型多角形で、
旧日本陸軍の象徴として、
帽章や肩章に用いられた。
(戦争17 ガラス棚C・2段)



りくぐんけんしょう 【陸軍肩章（下士官用）】

1組2本

(戦争18 ガラス棚C・2段)



【ゲートル】

帯状で両足の膝下に巻いた。ズボンの裾が引っ掛かりにくいよう、また脛をけがしないよう、足の疲労を軽減するために着用。1組2本

(戦争12 ガラス棚C・2段)



ほうこうぶくろ 【奉公袋】

軍隊に入営した者が各自所持して必要な書類やこまごました身の回りの品（印章、軍隊手帳、貯金通帳、遺書、遺髪、召集令状など）を入れた。木綿製の袋。(戦争16 ガラス棚C・2段)



【軍隊手帳】

身分証明書であり履歴書を兼ねた。

軍人勅諭(ちよくゆ)、教育勅諭(ちよくゆ)、
軍人語法などの軍人としての心得が記されていた。(戦争20 ガラス棚C・2段)



にっしょうきよ せ が き 【日章旗寄せ書き】

第二次世界大戦中、出征する兵士の無事を祈って、家族や友人知人たちが、白生地に大きな日の丸を描き、その周りに寄せ書きをした。従軍兵士は鉄兜の中などに入れてて保持していた。

別称：日の丸寄せ書き。

(戦争25 ガラス棚C・3段)

<<戦時中の暮らしがわかるもの>>



玄関前にかけられていた標札
ブリキ製。

(戦争22、23

ガラス棚C・2段)



献身報国 実行実動を促す貼紙

民衆の戦争に向けての気持ちを鼓舞するため、町内のあちこちに貼られていた。

(戦争19 ガラス棚C・1段)



郵便貯金通帳

兵役についた者は、帰省先の最寄りの郵便局で通帳をつくり、給金はそこへ振り込まれました。

(戦争6, 7, 8 ガラス棚C・1段)



従軍した者や、寄付したものに授与された記章

(戦争9, 10, 11 ガラス棚C・2段)



債券

終戦まじかの昭和 10 年代後半になると、戦費を調達するため、一般向けに高額～少額のさまざまな割増金付き債券が何度も発行されたが終戦により、いずれも価値がなくなった。

(戦争 1, 3, 4 ガラス棚 C・1 段)



『非常時国民全集 航空篇』 昭和9年発行

中央公論社より全 7 巻（海軍篇・外交篇・経済篇・陸軍篇・産業篇・生活編・航空篇）が出版される。申込金は国防費に献金された。

(戦争 2 8 ガラス棚 C・1 段)

これからも引き続き、展示資料を少しずつご紹介したいと考えております。

またお立ち寄りください。